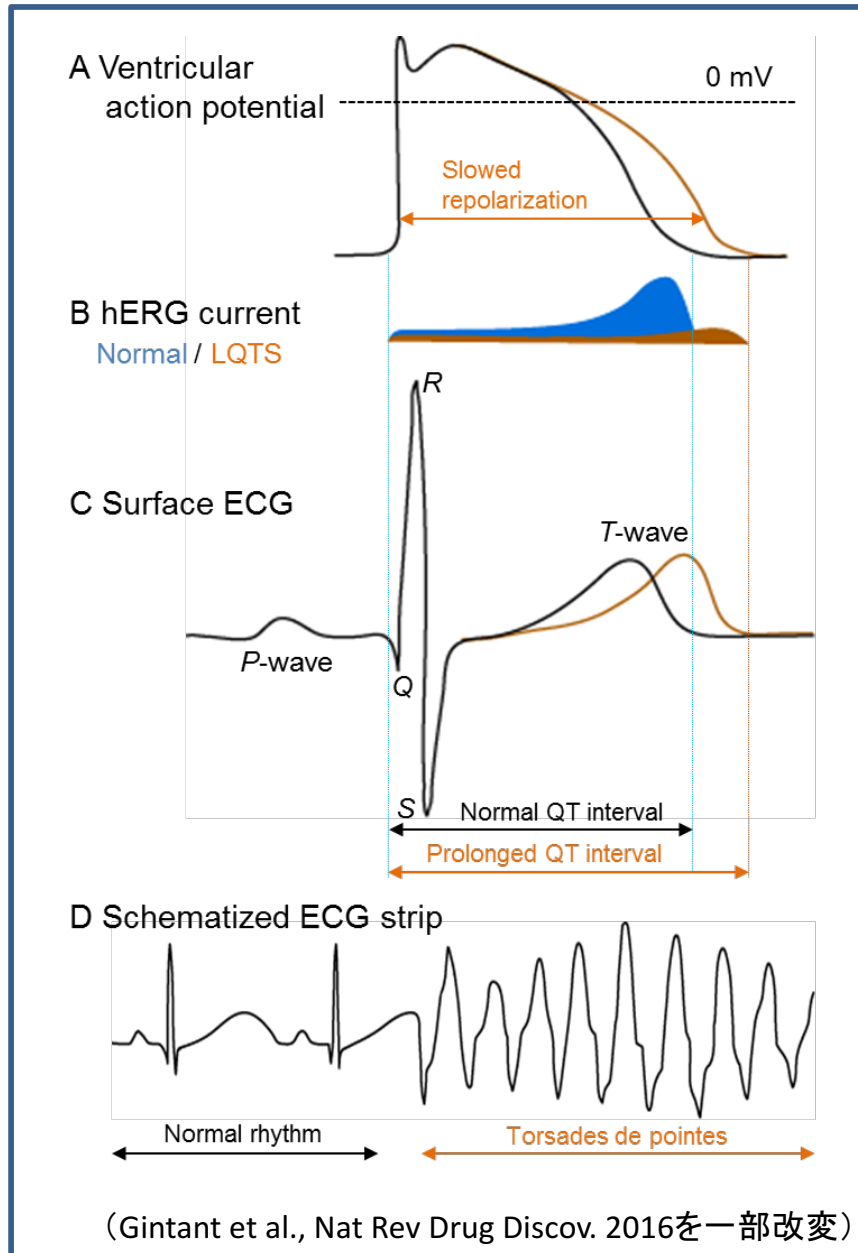


hERG試験の問題点およびiPS心筋細胞の利点



現状の問題点

- ・QT延長作用のある薬剤が必ずTdPを誘発するわけではない
- ・hERGチャネル阻害試験の偽陽性が多い

より正確に薬剤の催不整脈作用を予測できる試験系が望まれている。
(ヒト、複数のイオンチャネルなど)

ヒトiPS細胞由来心筋細胞の利用が有用である。